

東京ディズニーランド、ディズニーシーが好んで、毎年お正月休みに



リレーエッセイ 228

東京ディズニーリゾートへの思い

紀田 朋宏 (阿倍野区)

学生時代は埼玉県にいたのでディズニーランドには何度か行ったことがあったが、家族で最初に

わり頃である。まだ幼い娘は目の前に繰り広がる空間を全く素直に見て、感じて大喜びし、あるいは大きな口をしたグーフィーやブルートに近寄り

の国にはまり込み、家族で来て良かったなとちよっぴりとした幸せを感じることができた。ディズニーランドはUSJなど他の遊園地と違い、中に入るのと俗世間の造形物を

まっつのだが。以来、何か中毒にでもなってしまうかのようになり、今年もつやめておこうよ」と家内と話をしたりするのだが、「でもやっぱり寂しいな」といつことになり

の喜びや感動である。今はディズニーシーの「アラヴィッシュモ」という夜のショーが好きだ。水の精ペリッシュと火の精プロメテオとの出会いをテーマにしたショーである。内容は抽象的で意味合いは良く分からないのだが、とにかくスケールのでかさや迫力に



絵 藤田 進氏 (河内長野市)

3 団体親睦ゴルフ 次回は来春 4月29日 親睦ゴルフコンペが11月23日、亀岡市の関西カントリークラブで開かれ、32名が参加した。このコンペは医科協会会員と歯科協会会員及び協同組合

1 月度生涯研修 「食医のスズメ 日常臨床に役立つ摂食・嚥下障害の診断と治療」 日時 2008年1月20日(日)午前10時〜午後1時

Table with 2 columns: 日程 (Date) and 要請内容 (Request Content). It lists dates from June to December and corresponding requests to various government bodies.

この間取り組んできた要請行動... 協会では署名を、この間8度行われた国会要請や厚労省要請の際に、歯科医師、患者・国民の声として紹介し、歯科医療の改善を強く訴えた。集められた署名は、主旨に賛同いただいた大阪・近畿選出の紹介議員を通じて、11月29日に地元

年末の予算編成に向け、診療報酬の引き上げ、患者負担の軽減などを求め6月末から取り組んできた会員署名は、1960筆(開業医会員比96.0筆)寄せられた。協会では署名を、この間8度行われた国会要請や厚労省要請の際に、歯科医師、患者・国民の声として紹介し、歯科医療の改善を強く訴えた。集められた署名は、主旨に賛同いただいた大阪・近畿選出の紹介議員を通じて、11月29日に地元

選出国會議員・首相・厚生労働大臣・財務大臣・中医協会長に提出した。協力いただいた先生にお礼を申し上げることに、今後とも歯科医療改善運動への協力をお願い致します。

1 月度生涯研の抄録 食医のスズメ 日常臨床に役立つ摂食・嚥下障害の診断と治療 野原 幹司 (大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部助教)

1 月度生涯研の抄録

食医のスズメ 日常臨床に役立つ摂食・嚥下障害の診断と治療

野原 幹司 (大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部助教)

今、臨床現場では摂食・嚥下リハビリテーション(嚥下リハ)に対するneedsが高まっている。この10年で、日本では嚥下リハ学会が組織され、臨床レベルも飛躍的に上昇してきた。病院ではさまざまな職種が参加し、充実した嚥下リハが行われるようになってきた。しかしながら、退院すると急に嚥下に対する治療や介入が手薄となるのが現状である。在宅や施設では、嚥下機能が回復しているにもかかわらず経口摂取が禁止されていることや、悪化しても誤嚥性肺炎になるまで気付かれない、といった症例が散見される。退院後の症状の変化に対応できずに放置されている。

このような在宅や施設での現状を憂えられるのは、歯科ではないだろうか。歯科医院は全国で65000件以上あるとされている。何より、歯科医は嚥下機能を含む口腔機能の専門家であり、「食べること」に最も近い医療者である。歯科が往診をしていると、介護者から嚥下に関する質問を受けることが多々ある。このことは、歯科に嚥下リハを担当して欲しいという社会的needsの象徴だと思つた。

これまで歯学・医学では、嚥下障害に関する教育はなかった。そのため、嚥下リハを始めようと思つても、どこから始めていいかわからないという声をよく聞く。今回の講演では、歯科の、歯科による、嚥下治療のための嚥下治療について、私が行っている臨床を交えて、明日からでも実践できる内容をお話する。

昔の中国には「食医」という「食べること」全般を診る医者がおり、最も重要な医者としていたとされている。在宅や施設では、歯科医にはこれまでの歯科治療だけではなく、食事の認知から、栄養にいたるまで「食べること」を診る「食医」としての機能が求められているのである。講演を聴かれた先生方が「食医」になれることを願っている。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

1 月度生涯研修 「食医のスズメ 日常臨床に役立つ摂食・嚥下障害の診断と治療」 日時 2008年1月20日(日)午前10時〜午後1時 会場 M&Dホール(保険医会館東隣り) 講師 野原幹司氏(大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部助教) 定員 1000人 会費 会員3千円、未入会者1万円 ※生涯研修カードをご持参ください

3 団体親睦ゴルフ 次回は来春 4月29日 親睦ゴルフコンペが11月23日、亀岡市の関西カントリークラブで開かれ、32名が参加した。このコンペは医科協会会員と歯科協会会員及び協同組合取引業者の親睦を図るため、春と秋に開催しております。今回で4回目となる。参加者は秋晴れのもと、戦略性の高いコースレイアウトと速いグリーンに悩まされながらも和気あいあいとした和やかな雰囲気の中でプレーを楽しんだ。優勝は(株)日本医学臨床検査研究所の松島氏(歯科)吹田市開業。次回(来春)4月29日(祝)に枚方国際ゴルフ倶楽部で開催する。(協同組合・湯浅)

北大阪地区講習会 「次期診療報酬改定の動向とオンライン化」 日時 12月22日(土) 午後7時〜8時30分 会場 吹田市民会館5階会議室(阪急・JR「吹田」駅から徒歩8分) 講師 協会社保研究部・政策部講師団 会費 会員無料、未入会者1万円 定員 40人 堺・高石・和泉地区講習会 「診療報酬改定と個別指導の最新情報(仮題)」 日時 2008年1月12日(土) 午後7時〜8時30分 会場 サンスクエア堺(JR阪和線「堺」駅から徒歩3分) 講師 協会社保研究部・政策部講師団 会費 会員無料、未入会者1万円 定員 50人 医科・歯科共催 既存医療法人対象 「二人医療法人定款変更のポイント」 日時 2008年1月19日(土) 午後2時30分〜4時 会場 保険医会館2階会議室 講師 和泉節夫氏(協会顧問税理士団) 改定医療法施行に伴い、既存の医療法人は08年3月中までに定款変更が必要で、変更手続きのポイント、その影響などについて解説します。 会費 会員院所医療法人 無料 ※現状の医療法人定款を、ご持参ください。

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です。協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音は、お断りします。 ※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。